



ま ちがと インタビュー

新年度を迎えた抱負は 目標に向かってチャレンジしよう

今回のインタビューテーマは「新年度の抱負」です。

勉強やスポーツ、趣味、習い事など、目標や決意、チャレンジしたいことを広野中学校の生徒にお聞きしました。



わたなべ きんしろう 渡邊 金四郎さん (3年生 広洋台一丁目)

私は新年度からウォーキングを始めようと思っています。

私は小さいころから3キロほど歩いていたので、最近、散策することにはまっていて、たまにしているのですが、3年生になって部活も引退して体力が落ちると思う、本格的にウォー

キングを始めることにしました。いろいろな場所をたくさん歩いて、新たな発見をしたいと思います。



童謡祭りに参加した広野中学校



ねもと ちひろ 根本 千妃呂さん (2年生 折木・太田川)

震災から4年目に入りますが、震災当時私は小学4年生でした。

当時にくらべて今の広野町は、お店や病院などが少なく、そのため人もあまりいないので、とてもさみしいなと思いました。未来の広野町のために、たくさん勉強を自ら進んで行い、将来明るい広野町にできるように、全力をつくしたいと思います。

編集後記

新しい年を迎えたばかりと思っていたのに、桜の季節も過ぎ去ろうとしています。

冬の寒さが厳しかったせいですが、この春の花々の咲き方は例年と違いました。三春町は梅、桃、桜が同時に咲くのでその名がついたと言われていますが、私たちの町でも梅、桃、桜の花を同時に見ることができました。

花木は時を忘れず花開き、私たちの傷ついた心を和ませてくれます。

思い返せば避難初期、桜がいつ咲き、いつ散ったのか記憶にありません。その頃と比べれば自然の変化を感じられるようになったただけ、大震災と原発事故から3年経ち、周辺の環境が整えられるにつ

れて少し気持ちが落ち着いてきたのでしょうか。

しかしながら、平気な顔をして生活しているも心の隅には放射性物質に対する不安を誰もが抱えています。どんなに歳月が流れても私たちはこの大震災と原発事故を忘れない、忘れてはならないと心に誓い、再生を信じて、出来ることを少しずつではありますが続けている毎日です。

発行・編集責任者 (塩 史子)

議長 鈴木紀昭

広報委員会

- 委員長 渡邊正俊
- 副委員長 北郷幹夫
- 委員 塩 史子
- 委員 渡辺久長
- 委員 門馬 巧
- 委員 畑中 大子
- 委員 小磯 利雄

次の定例会は6月です

